

新編武藏國風土記稿

新座郡

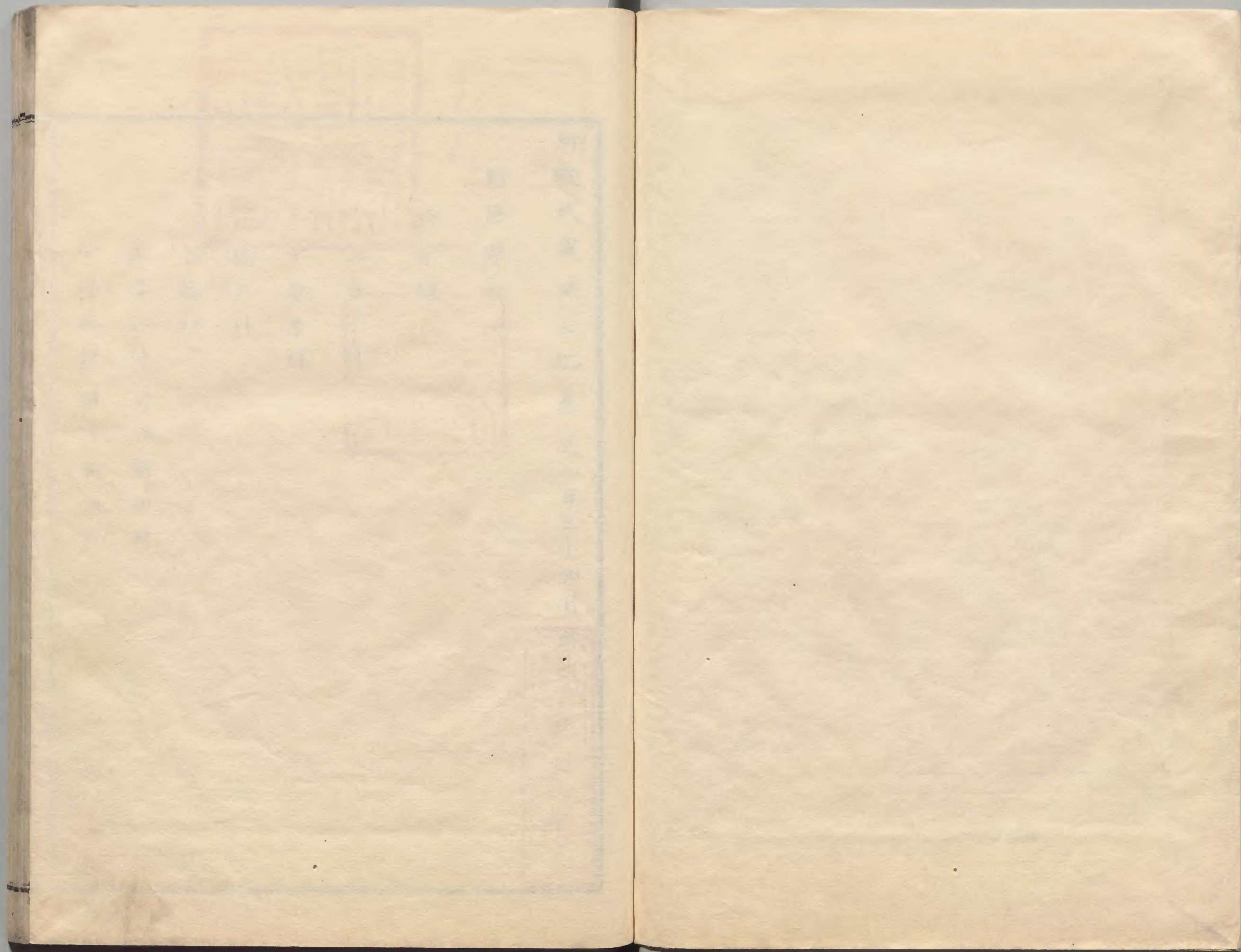
卷之二百三十四

和書門			
一六五	一〇	號	類
二二三	四	函	架
二五五	冊		

庫文閣内		和書	
二五五	一〇	號	類
二五五	冊		
七三	函		
一九	架		

内閣文庫	
番號	和 16510
冊數	255(133)
函號	173 210





新編武藏風土記卷之一百三十四目

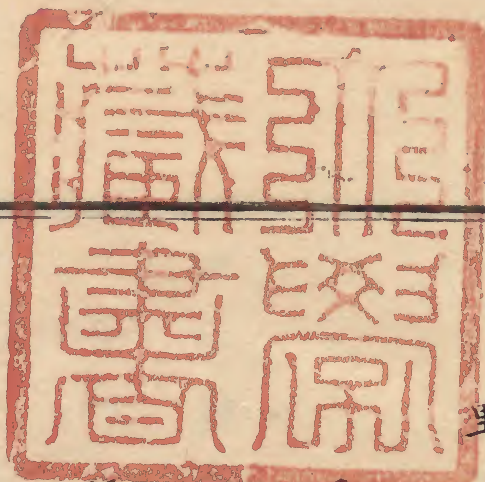
録

淺草文庫

新座邸之

六

野方領



上白子村

下白子村

橋戸村

小樽村

上保谷村

持添新田附

下保谷村

持添新田附

新編武藏風土記卷之一百三十四

新座郡之六

野方領

上白子村

白子村廣澤庄ニ属ス。村ヲ上下ニ別テ廣キ地十
 リ。其村名ノ起ル處ヲ詳ニセス。或説ニ云。上古此ア
 タリヲ志樂木郷ト稱セリ。是ハ古新羅人ヲ置レシ
 ヨリノ名ナルベシ。既ニ和名鈔ニ志木郷アルハ。志
 樂木ヲ中畧セシナリ。此村名モ志樂木ノ横ナリ

テ。白子トナリシモノナルベシト。是等ノ説モ後人ノ附會ニ出ルヤ。其證ヲシラサレバ信ジカクシ。總テ古ノ事ハ傳ヘズ。サレド北條ノ時代ハ。此村代々不入ノ地タルヨシ。其頃ノ文書ニ見エタリ。事ハ橋戸村ト合セ見ルベシ。御當代ニ至リ。天正十九年。此所ヲ伊賀ノ者ノ給地ニ賜ハリシガ。後新ニ開キシ地。又ハ給地ノ中ニ。故アリテ公ニ入シ處ハ。其一ニ御料所トナリシニ。此隣村橋戸ノ中ニモ。伊賀者ノ同シ頃上地トセシカハ。御領所トナリシヲ。後ハ共ニ白子ト唱ヘシヨリ。白子ノ地ハ増加セリ。夫ヨ

リイツトナク。カノ御料所ヲ土人ノ上ト呼シカハ。伊賀ノ者ノモトヨリ領スル方ハ。自カラ下ト云テハセシヨリ。遂ニ上下ニ村トナリシト。村老イヘリ。然ルニ橋戸村百姓忠右衛門ガ所持ノ。小河出雲守ヨリ。高麗丹波守ヘ與ヘシ書翰ニ。白子上郷云云トアリ。是ハ永祿年中ノモノト見ユレバ。此時ヨリ上下ヲ唱ヘケンモ知ラサレド。正保及元祿ノ頃。イニ夕上下ノ唱ナケレバ。正レク別レシハ。元祿ノ後ナルベシ。村内畑多ク田少シ。東北ノ方ハ。山野連ナリテ喬木シゲレリ。西南ノ方ハ。地早ク水田少カラ

ス。東南及東北ノ間ニ豊島郡土支田村ヨリ入ル路
兩條アリ。北方ニ下新倉村ヨリ入ル路アリ。此地橋
戸村ト犬牙シタレバ。四方ノ境界分千ガタシ。東南
ハ豊島郡土支田村ニ境ヒ。西ハ郡内小樽村ニヨリ
北ハ下白子村ニ隣レリ。北條分限帳ニ白子五十貫
文。左衛門大夫殿トイヘルハ。此地十ルベシ。寛文四
年。野村彦太夫。元禄三年。細井九左衛門。享保六年。寛
播磨守等ノ檢地アリ。昔ハ伊賀者ノ給地ナリシヲ
年ヲ追テカヘシ奉リ。今ハ一圓ニ川崎平右衛門ノ
支配所ナリ。

小名

原 村ノ北ニアリ。

山川

白子川 村名ヲ以テ名トセリ。郡内小樽。豊島郡土
支田兩村ノ境ヲ過。此村ノ南ニ入。村ノ東ヲ流ル
ルコト三十町許。下白子村ニ入。

古蹟

白子原 其所ヲ詳ニセズ。古此邊モ廣原ナリシカ
バ。カ、ル名アリシナラン。天正年中年代記ニ大
永五年乙酉八月廿三日。此原ニ於テ合戦アリ。其

項櫛間九郎トドイヘル人。討死セシコトヲ載タリ。按ニ大永ノ頃ハ。上杉北條兩家ノ戦争ヤム時トシ。河越ノ城ニハ。上杉朝興在城シ。江戸ハ北條ノ家人遠山富永等在城ナレバ。此戦恐クハカノ兩家ノ輩。兵ヲ交ヘシ時ナラン。此櫛間ハ九島ニテ。上總久細成ガ一族ナラシカ。サレド大永ノ頃ノ記録ニハ。此事未ダ所見ナシ。

下^レ白^シ子^コ村

此村ハ郡ノ東南ノ端ニアリ。庄名上村ト同ジ。江戸シ隔ルコト四里半。村ヲ上下ニ分クニ事ハ。上白子村ニモ辨ジタレド。當村ニ傳フル所ト異ナレバ。再辨セリ。其傳ヘニ。寛文年中ノ水帳トイヘルモノニ。下白子村ト記セリ。是上下ヲ別ケシ始ナリ。サレド此地白子ノ本村ナレバ。後ニ至リテモ。公ノ簿書等モトノ如クシバ白子村トシ書ストイヘリ。前村ノ説ト孰カ是ナリヤ詳ニセス。人家百五十軒。東ハ

白子ノ驛家アリテ。人家簷ヲ並べタリ。村内西北ハ。土地高クシテ山アリ。東南ノ端ハ。地卑ク。用水ハ白子川ヲ分テドモ。卑下ノ地少ケレハ。水田少ク畑多シ。東邊ニハ川ニ傍テ。赤塚村ノ飛地少ク係リ。南方ノ端ニハ。隣村上支田ノ飛地アリ。驛ヨリ西南ニ河越街道ヲ通ズ。東ハ豊島郡上赤塚村ニ境ヒ。南ニ同郡土支田村ニ接シ。西ハ上白子村ニヨリ。西北ハ下新倉村ニ隣ル。東西十町。南北三十町。村民富澤柴崎浪間新坂加山等ノ氏アリ。舊家ナルベシ。此地モ天正年中ヨリ。伊賀者ノ給地トナリ。野錢ハ御代官所

へ納ム。是ハ正保ノ頃ニ至リ。野村彦大夫ノ支配セシコトモアリ。土人云。寛文中始テ伊賀者ノ給地トナリタリ。此時前ニイヘル水帳モ。公ヨリ渡シ賜ハリタルモノナリトドイヘド。是等ハ語り傳へノ詳ナラヌニヤ。其故ハ伊賀者ノ給地ヲ賜ハリシ始ハ頭ニテ。收納ノ事ヲ司リ。カレラハ年々頭ヨリ御給米ヲ受ルノニ。橋戸村庄忠右衛門ガ所藏ノ文書ニ。服部石見守殿御知行橋戸ノ内トアリ。此人橋戸ヲ領セシニハアテガルヲ。カク云レコト。其證トモスベシ。然ルニイツトナク流弊起リシニヨリ。後ニ

ハ伊賀ノ者集議シテ。収納ノ進退ヲ取扱フ事トハ
ナリ又。ツレシ土人ハ始テ賜...リシト云傳フルニ
ヤ。今モ伊賀者ノ給地ニテ。御代官川崎平右衛門ノ
支配所モ交ハレリ。

小名

市場

村ノ東北ノ端。四方三町許ノ處十

城山

村内地福寺ノ東北ニアリ。四方一

町半モアルベシ。

白子宿

村内河越街道又口ノ宿ナリ。此

宿ハ天正ノ末ヨリ置シト見ユ。郡内橋
戸村ノ民庄忠右衛門ガ所持セル。天正
十五年ノ文書ニ。新宿ヲ見立テ。毎月六
次ノ樂市ヲナスベキト云ユトアルハ。
此處ナリ。近キ項御代官所ヨリ紀シア
リシ時。此文書ヲ證トシ。古来ヨリノ市
ナルコト分明ニナリシカバ。今モ毎月
五十ノ日ヲ以市ヲナセリト云。
牛房村ノ南四方總ニ六十間許ノ處ヲ
云。

向^{ムカ}山 村ノ西四五町四方ノ處ナリ。
越^{コト}後山 是^{コト}モ西方四五町ノ處ヲ云。

山川

觀音寺山 小名牛房ニアリ。山上ノ平地ハ木立ニ
ケリ。田圃モ其間ニ見エタリ。

瀧坂 西北ノ方ヨリ下ル坂ナリ。瀧不動ノ側ニア
ル故ニ名トセリ。

御林 宿ノ西ニアリ。廣十五町許。

白子川 上白子村ヨリ入。東ノ方ヲ流ル。コト三
十町許。白子宿ノ辰巳ヨリニ條ニ分ル。本流ハ川

幅六間餘。支流ハ終ニ二間許。村内ニテ又一流ト
ナリ。北ノ方下新倉村ニ入。

橋梁

大橋 小橋ノ西方ヲ流ル。白子川ニ架ス。土橋ナ
リ。長六間餘。幅九尺餘。

小橋 大橋ノ東方郡ノ境ヲ流ル。白子川ニ架セ
ル土橋ナリ。長一間。幅九尺以上ノ二橋ハ公ノ修
理ナリト云。

神社

氷川社 村ノ北ニアリ。鎮座ノ年歴詳ナラス。此村

ノ鎮守ナリシガ。故アリテ中古不動堂ノ境内十
ル熊野権現ヲ鎮守ト崇ノシユヘ。此社ハ自ラ衰
ヘタリト云。村内地福寺ノ持。
諏訪社 宿ノ西御林ノ中ニアリ。社ハ四尺ニ六尺。
村民ノ持。

寺院

地福寺

段境九畝餘地七村ノ東北ノ端ニアリ。瑞應山

地藏院ト號ス。天台宗。入間郡小仙波村喜多院ノ
末寺ナリ。開山開基詳ナラス。總テ舊記等田祿ノ
災ニ罹リケレハ。傳フル事跡ナシト云。本尊モ古

ハ地藏尊ナリシガ。彼火災ノ時ヨリ別ニ収ノ置。
今ハ釋迦ヲ本尊トセリ。按ニ當寺ノ鐘ノ銘ヲ見
ルニ。古鐘ハ寛文中。十世ノ住僧珍海法印ノ時
成シテ。後破壊シケレハ。延享中新ニ鑄シトイヘ
ハ。其時代古キコト推テ知ベシ。又此近村庄志右
衛門ガ所藏ノ文書中ニ。當寺ノ僧ノ事ヲ記セリ。
此書ハ永祿中ノモノト見ユレハ。是等ヲモテ思
フニ。舊キ寺ナルベシ。
本堂 九間四面東向。門モ同じ向ニテ。前ニ十級
餘ノ石階アリ。

鐘樓 門ヲ入テ左ノ小高キ處ニアリ。鐘ハ延享
年中鑄直シタレドモ古銘ヲ勒ヒリ。其文左ノ
如シ。

武州新坐郡白子村。瑞應山地藏院地福寺。銅
鐘一口建立所。
夫撞鐘一響。十方衆星來集。霜鐘一度。經耳者。
無明煩惱醒眠。因茲經文云。一打鐘聲。當願衆
生脫三界苦。得見菩提矣。聞晨朝黃昏者。入常
樂三昧。佛閣嚴飾。精舍法器。所以雲上衆。五衰
之憂休。一聲之響。下界龍神三熟之苦。息半時

之鐘。昔日珍海法印。一鐘建立。而備當山寶
物。經年破壞。而推鐘響久斷絕。而似心中月失。
依之現住亮因法印。勸萬民。再一鐘鑄。而掛寶
前。是以當寺繁昌。真俗圓滿。門且長久。廣作佛
事。願主并奉加信主。現世安穩。後生善處。乃至
諸聖靈等。同證佛果。鐵圍鈔界。普聞鐘聲而已。
寬文十三癸丑四月吉日

古鐘勸進沙門

當寺十世珍海法印

于時延享四丁卯十二月吉日

當寺十六世

権大僧都堅者法印亮咽敬白

光西房 鐘樓ノ後。墓所ノ側ニアル小庵ナリ。

塔頭

久城寺

萬正寺 以上二寺ハ何ノ頃ヨリカ廢寺トナリ

テ。名ノミ残レリ。

觀音堂 牛房通り觀音寺山ノ上ニアリ。三間四面

ノ堂ナリ。觀世音并ニ閻魔王ヲ安ス。前ニ武州新

倉郡白子村。松竹山觀音寺。元禄千丁丑天三月十

八日。トエリタレ。鰯口ヲ掛ク。

牛頭天王社 觀音堂ニ向ヒ左ニアリ。九尺一間

許ノ祠。

地藏堂 同ビ處ニアリ。二間四面ノ堂。

別當觀音寺 五間半ニ四間モアルベキ寮。松竹

山ト號ス。天台宗。村内地福寺ノ門中ナリ。閑山

開基詳ナラズ。

古碑一基 永五年十一月數字見ユ。永ノ字ノ上

破損シテ讀ガタシ。恐クハ應永大永ノ中ナル

ベシ。

不動堂 驛ノ中程ニアリ。山下ニ瀧アルユヘ。瀧不
 動ト號ス。堂ハ三間四面。側ニ古木茂リ。前ニ三十
 ニ級ノ石階アリ。背後ハ山高シ。幽邃ノ地ナリ。コ
 ノ堂ニ向テ北ノ方ナル小高キ處ニ。六間ニ八間
 ノ池アリ。東南ノ方ニ寛ヲ設テ。山下ヘコノ水ヲ
 落ス。七八尺ノ瀧ナリ。村中旱魃ノ時ハ。コノ處ニ
 テ雨乞ナドヒシト云。
 熊野宮 瀧ノ側ニアリ。村ノ鎮守ナリ。本社一間ニ
 九尺上屋ハ二間ニ三間。前ニ鳥居ヲ建ツ。鎮坐ノ
 年歴詳ナラズ。

稻荷社 熊野宮ノ左ニアル小祠ナリ。
 別當不動院 不動堂ノ側ニアリ。神龍山ト號ス。
 天台宗。入間郡小仙波村喜多院ノ末ナリ。

橋戸村

橋戸村ハ。新倉郷廣澤庄ニ屬ス。コノ地ハ天正十九
年伊賀組へ賜リシヨリ。今モ伊賀組ノ給地ナリ。江
戸ヲ隔ルコト四里半。上白子村ノ内ニアリ。人家三
十軒。其居住ノ地。及神社佛寺等ノ散在スル處ノ三
コノ村ニテ。其餘ハ皆上白子村ノ地ナリ。其地ハモ
ト橋戸村ナリシガ。後世白子ノ地廣クナリシマ、ニ
自ラ橋戸モ其中へ入シ故。別ニ上白子村ノ名モ出
来シナラン。已ニ土人ハ。上白子村ノ一名ヲ。橋戸村

トモ心得タリ。サレド村民庄忠右衛門が所藏ノ慶
長元年ノ文書ニモ。橋ノ名ヲバ載セタリ。又正保
元禄等ノ圖ニモ。橋ノ白子ハ別村ナルコト。其證明
ナルハ。既ニ白子村ニ辨セリ。

神社

天王社 一除地小名中里ノ耕地ニアリ。三間四丁ノ

社。村ノ鎮守ナリ。鎮坐ノ年歴知ラス。當村忠右衛

門。小樽村角左衛門ノ持。

氷川社 村民庄忠右衛門が宅地ノ内ニアル小祠。

祭神ハ在五中将ナリ。其家ニテハ。中将東國下向

ノ時。庄春日江古田ト云三人ノモ。ノ慕ヒ来リテ。

此地ニ祭リシト相傳レドモ。信ガベカラズ。

辨天社 一間ニ二間。村内真福寺ノ側ニアリ。村民

ノ持。

天神社 東邊ニアリ。前ニ鳥居ヲ建ツ。

寺院

教學院 一境内四方村内ニアリ。新義真言宗。豊島郡

石神井村三寶寺ノ末。西圓山ト號ス。文永五年長

全法印開山ス。中興開山ハ良賢法印ト云ヘドモ。

其時代ハ詳ナラズ。本堂八間ニ五間。本尊觀世音

ヲ安置ス。

古碑五基 境内ニアリ。ソノ内ニ基ハ文字滅ノ

見ヲケガタシ。三基ニ刻スル文字ハ。天永八年。

天和五年二月。嘉吉三年八月。逆修祐嚴トアリ。

真福寺 境内村ノ西ニアリ。是モ新義真言宗。三寶

寺ノ末。愛宕山ト號ス。本堂三間四面。開山。榮長

印。承應三年十二月寂スト云。教學院所藏ノ過去

帳ニハ。コノ寺ノ開山宗識ト見エタリ。コレ榮長

ノコトニヤ。

藥師堂

除地四畝餘 教學院ノ南ニアリ。堂ハ三間四方。

本尊藥師如來ヲ安ス。行基菩薩ノ作ナリ。

舊家

忠右衛門 庄氏ナリ。先祖和泉守藤原秀永。足立邸

新曾村觀音寺ニ隱居シ。シカモ彼寺ヲ中興開基

シ。寛永十七年ニ死セリ。コレヨリ前ノコトハ傳

ヘザレハ。知ルベカラズ。按ニ庄氏ハ武藏國七黨

ノ内兒玉黨ニテ。庄太夫家弘ヨリ出ツ。家弘ガ子

ヲ庄権守弘高ト云。ソノ子庄太郎家長ナリ。家長

ハ保元物語東鑑等ニ。事跡モアラハレ。當國ノ住

人ニテハ。コトニ類屬モ廣カリシナリ。此庄氏モ

ソレガ子孫ナルベケレド。今ソノ詳ナルコトヲ
 知ズ。和泉守秀永ト云ハ。北條家臣庄式部少輔ノ
 一族ナドニヤ。同家太郎右衛門ハ。今ニ新曾村ニ
 居住ス。忠右衛門ノ家ハ。イツノ頃カコ、ニ移リ。
 ソレヨリ累世コノ村ニラレリ。古文書四通ヲ藏
 セリ。其文左ノ如シ。

定白子左衛門尉松別領御書

一 只ノ女百文

五張法親王

長部河内守
 在左新書

以内

一 九百文

八月廿四日同會ノ物

一 八百文

九月廿一日同會ノ物

一 八百文

九月十六日同會ノ物

以上

音又

音又

一 九百廿又

棟別

徳九寺

吉田寺
西原寺

はり

一 三三首又

小川海

一 三三首又

小川海

三三首又

小田原

一 如所定あり持寄り米穀と云ふ百石を榎

系外一斗の米目積り此米より

三斗後差日積り百石は是れ付銀一俵

改定修書

一 南久田細持宅他々寸書之紙不可書

此事

一 石飛之田留甲乙之書入座外年蓋紙

七子蓋紙亦代書一札之紙の書あり

一 南久田自先代不入後迄の南代於

不入中流文埃 沖之後等法同新書

見是每及六反樂市の紙あり

一 白子乃百姓何方今在信長位由國法代

在百姓中記名及二の紙此事

小樽村

小樽村ハ。廣澤庄ト稱シ。郷名ハ傳ヘス。郡ノ東南ノ隅ニアリテ。江戸ヲ隔ルコト五里餘。東ハ上白子村。及白子川ヲ隔テ。豊島郡土支田村ニ隣リ。西ハ本郡下保谷村。南ハ豊島郡關村。及郡内上保谷村ニ界ヒ。北ハ中澤辻西村ニ接シ。上白子村ノ西方ヨリ。土支田村ノ境。白子川ノ流ニソヒ。斜ニ西ノ方ヘカケ入リ。其形半月ノ如シ。故ニ北ニヨリタル所ハ。東西一里餘。南ノ方ハ纔ニ十町許。南ヨリ北ヘハ。五町モア

張込石見書後

袁小刑 印

伊德 印

ルベシ。人家三百二十軒。川越街道ノ内白子ノ宿へ
人夫ノ定助ヲツトム。此アタリ用水ノ便アシケレ
バ。水田少ク畑多シ。米穀ハ一里許備テタル黒目川
ノ河岸へ津出シヲナシ。荒川ヲ經江戸マデ川路十
六里餘。コノ村ノ飛地。隣郡土支田村ニニケ所。本郡
中澤村ニ一ヶ所アリ。北條分限帳ニ。小樽漆屋九十
八貫八百六十文。太田大膳亮知行トアリ。漆屋ハ多
磨郡漆屋村ニテ。小樽ハコノ村ナレバ。北條家ノ時
代マデハ。太田氏ノ知行ナリシガ。御打入ノ後。板
倉四郎左衛門勝重ノ領知トナリシコトハ。上新倉

村ニ見エタリ。板倉氏コノ地ヲ領セシハ。勝重ヨリ
子息伊賀守ニ及ビ。寛永三年ノ頃マデナリト。村人
ノ傳ソル處ナリ。サレド板倉家系ニ。勝重ノ子ハ周
防守重宗トアレバ。伊賀守トイヘルハ誤ニヤ。正保
ノ頃。御代官野村彦太夫為重ガ支配シ。ソレヨリ前
ニモ。伊奈半十郎ノ支配セシコトアリ。後寛文年中
ニ至リ。稻葉美濃守正則ノ領知トナリ。同キ三年同
人檢地セリ。其子丹後守正通。貞享二年越後ノ國高
田へ所替アリ。後又御代官所トナリ。元禄十六年江
川太郎左衛門支配ノ時。米津出羽守田盛へ賜ハリ。

ソレヨリ累世今モ米津氏ノ領知ナリ。
小名

堤村 村ノ西北ノ方ヲ云。此所ノ辻ニ高

サ三尺八寸。幅一尺四寸三分。厚サ一尺

一寸二分。正面ニ題目ヲ刻ニ。側ニ享保

元年ニ建タルヨシヲ彫ル。四面ノ塔ア

リ。故ニ土人此所ノ小名ヲ四面塔トモ

イヘリ。

榎ノ古樹残テ在故ニ名ツソ。

水溜 村ノ南ニアリ。

小作 村ノ西ニアリ。

中島 土支田村ノ境ニアリ。

山川

白子川 コノ村ト土支田村トノ境ヲ北ニ流ル川

幅ニ間許。

井頭池 コノ村反土支田村ノ境。南ニヨリテアリ。

白子川ノ源ナリ。

原野

林場 村ノ東北隅ニアリ。

神社

三十番神社 村ノ鎮守ナリ。小名中島ニアリ。本照

寺ノ背後ニアタレリ。

稻荷社 小名堤村ニアリ。鎮坐ノ初詳ナラズ。九尺

ニ一間許ノ小祠。前ニ鳥居アリ。村内圓福寺ノ持

寺院

妙福寺 村ノ東豊島郡土文田村ヨリ入口ニアリ。

法華宗。下總國葛飾郡中山法華經寺末。法種山ト

號ス。弘安五年。法華經寺第二祖日高聖人草創ノ

地ナレドモ。後住メル僧モナカリシヲ。又カノ寺

ノ三祖日祐聖人再建シ。一七日ノ説法アリシニ。

村内天台宗修驗大覺寺ノ住持日延聖人モ。此法

筵ニ至リ。深ク其宗意ヲ歸依シ。遂ニ改メテコノ

宗トナレリ。日祐モ日延聖人ノ知識ヨノツ子ナ

ラハルヲ知り。當寺ヲコノ聖人ニ讓レリ。今ハ日

祐聖人ヲ開山トシ。日延聖人ヲ歸伏開山ト稱ス。

日延ハ永和二年十一月十一日ニ寂ス。後天正年

中御朱印地二十一石餘ヲ賜リシガ。後四祿ニ罹

リ。寺モ衰ヘシニ。二十一世明了院日教聖人堂宇

ヲ再造セシユヘ。是ヲ中興開基トス。コノ聖人ハ

享保十一年十一月十三日寂セリ。本尊三寶ヲ本

妙福寺圖



堂ニ安ス。往古大覺寺ノ本尊ハ。嘉祥三年創建ノ
時。開眼ノ釋迦。金佛今モコノ寺ニ収メ置タリト
云。

仁王門 境内入口ニアリ。四間ニ二間。東向ナリ。

コ、ニ安スル金剛ハ。近キ頃塗直シ。古色ヲ失

フニ似タレドモ。容貌ヨノ常ノ像ニ非ズ。舊キ

モノト見ヘタリ。

裏門 二間半。仁王門ノ並ビニアリ。コレモ東ニ

向フ。

祖師堂 七間ニ七間半。仁王門又正面ニ當ル堂

ノ左右ニ石燈籠ニ基ヲ建ツ。

三十番神堂 二間半ニ四間半。祖師堂ニ向テ左

ニアリ。

七面妙見相堂 二間半ニ四間半。祖師堂ノ背後

山上雜木茂リタル間ニアリ。堂ノ前山下ニ鳥

居ヲ建ツ。

天神社 七面堂ニ向ヘバ左ナリ。九尺ニ二間。前

ニ鳥居アリ。

鬼子母神堂 祖師堂ノ丑寅ニアリ。三間四面コ

ノ鬼子母神ハ。法華經寺ニ安セラル像ノ本鉢十

リ。往昔日蓮聖人平日ノ看經佛ナリシヲ。日祐
聖人へ傳ハリ。ツイニ當寺へ納メタリ。本寺ニ
ハ却テ摹刻ノ像ヲ安セリ。嘗テ賜ハル處ノ御
朱印モ。コノ鬼子母神へ寄附セラレシト云。
本堂 九間ニ八間。祖師堂ノ北ニアリ。
鐘樓 祖師堂ニ向テ右ニアリ。鐘ハ徑リ二尺五
寸。高サ三尺五寸許。寛文中ノ銘ヲ彫ル。其文
ハ後ニノス。是ニヨレバ。古鐘ヲ此時アラタメ
鑄シト見ユ。又ノ終ニ。慈東山大覺寺ノ文字隱
然トアレド。是ハ後ウチケシ
リト見ユレバ。

模糊トシテ正シクハ讀ガタ~~ク~~又其故モ傳へ
子ハ詳ナラズ。

武州新倉郡廣澤庄小樽村。法種山妙福寺者。
一乘護持之靈舍。祖教歷傳之舊基也。稟祖承
于正中。而流傳潔。仰教風于直道。而弘通不倚。
然自三代以前而未。隨異流以背源。固執滯而
塞流于時。
公命有在。堅執師徒。既及追却。因此歷囑什物。
行業資具。多紛散矣。遺毀損矣。特大鳴鐘者。法
林號令。道場要器也。然今已破廢。不足勤其用。

矣。與予因衆懇招。假承毀跡見而不忍之事儀。持而難弭之器物。寔雖數科。可如修補之為先。要者。法令警覺之縣鐘。歟。於茲不得默止。乃命治工。鑄補舊毀。復成新鑄。且又有旨。改號慈雲山太光寺也。仍伸其由。以勒斯銘云耳。

銘曰

源徵流潔。器完用成。舊鐘仍改。新鑄竭精。警覺曉夕。响達縱橫。其幽其顯。脫苦寧禎。德用巨議。利益恢宏。一乘自芒。萬世明々。

寛大茅四甲辰天仲秋朔日

鑄工江戶住 田中大和守藤原重正

當山中興十五世

一雲院日興謹言



塔頭

大乘院 新井山圓福寺ト云。村ノ西ニアリ。

本應院 村ノ西ノ方南ニヨリテアリ。

法性院 寛政年中別ニ一寺トナル。後ニ詳

ナリ。

善行院 山號寺號等ナシ。法性院ノ側ニア

本立寺 福壽坊ト云。豊島郡關村ニアリ。
コノ五ヶ寺。イツレモ境内ニハナク。處々
ニ散在セリ。

大覺寺 妙福寺ノ西北ニアリ。慈東山東陽院ト云。
嘉祥三年。慈覺大師ノ造立ニテ。天台宗ナリシガ。
往昔コノ寺ノ住持。妙福寺ニ歸伏セシヨリ。今ハ
其寺ノ奥ノ院ト稱セリ。サレド今モ別ニ一寺ナ
リ。
本照寺 境内ハ小名中島ニアリ。本堂五間ニ七間

半。乃光山ト號ス。開山日勇上人。文祿二年三月廿
日ニ寂セリ。

實成寺 村内東ノ方ニアリ。加賀阿闍梨日正聖人
天正年中創建ナリ。加藤山實成寺ト號ス。コノ寺
ハ往昔ヨリ村内妙福寺ノ末寺ニテ。法性坊ト唱
ヘシガ。寛政五年十七世日慈聖人ノ時。妙福寺ノ
本山法華經寺ノ末トナリ。院號ヲ免許セラレ。今
ハ法性院ト云フ。

舊蹟

辨天社蹟 井頭池ノ中島ニ建リ。里人云。昔シ村ノ

童コノ池ノ魚ヲ捕リシニ。忽チ其崇リアリシカ
バ。コノ村及土支田村ノ人ト共ニ。村内妙福寺ノ
住持日忠聖人ニ請ヒ。辨天ノ祠ヲコノ處ヘ勸請
シケル。時ニ貞享年中ノコトナリト。サレド正保
ノ頃ノ繪圖。既ニコノ祠ヲ載セタレバ。イツノ頃
ヨリカ廢祠トナリシヲ。コノ時再建セシタルベ
シ。ソレモ亦廢祠トナリ。今ハ名ノミヲノコセリ。

上保谷村持添新田附

上保谷村ハ。新倉御廣澤庄ニ屬シ。郡ノ南ニアリ。江
戸ヲ隔ルコト五里。此村ハ土地平カナレドモ水利
宜シカラザレバ。古來ヨリ畑ナリ。保谷氏ノ人ニ在ト
シテ開墾セシ故ニ。コノ名アリ。村内ニ下田岩崎桃
井野口中村ヲ氏トセル民五軒アリ。是開墾ノ事ニ
與リシ人々ノ子孫ナルヨシ。又滝島氏アリ。是モ久
シク此ニアリシト見ユ。保谷氏以下六人。コノ瀧島
が家ニ會シテ。開發ノコトヲ謀リシト言傳フ。人家

三百軒餘。地ノ形ハ豊島多磨西郡ノ間ニ出テ北ノ
一方ハ郡内下保谷村ニ續ケリ。西ヨリ東ヘカケテ
ハ。凡テ多磨郡ニ包マレ。西南ハ同シ郡田無村ニ接
シ。東南ハ十川上水ノ流ヲ隔テ。是モ同郡關前村
ニ隣リ。東ハ豊島郡關村ニヨリ。村内ニ青梅街道カ
リ。西ノ方田無村ニ達セリ。コノ村開墾ノ年。代ハ
タシカニ傳ヘザレド。北條分限帳ニモ地名ヲ載セ
ザレバ。永祿以後。御打入ノ前後ナルベシ。ソレヲ
企テシ保谷氏ノ名モ聞ヘザレド。村内東祥寺ノ開
基保谷出雲守直政。元和七年卒ス。トイヘバ。恐ソハ

コノ人領知セシ頃ノ開發ナルベシ。正保ノ頃ハヤ
上下ヲ別テテ。コノ村ハ野村彦大夫御代官所ナリ
シヨシハ。モノニモ見エタリ。寛文ノ頃ハ。稻葉美濃
守正則領シ。同キ三年同人檢地シ。其子丹波守正通
ノ時。貞享二年越後國高田ヘ所替アリシ。後ハ。御料
所トナリ。今ハ御代官川崎平右衛門ノ支配所ナリ。

小名

柳澤

下柳澤

壹里塚

苗木山

鳥首

洗竹

山間

又六

上宿

大門

平松

桶首

立野

西浦

神社

尉殿権現社

ニ境内除地 青梅街道ノ北側ニアリ。村

ノ鎮守ナリ。大門ノ通り四十間許。社ハ三間ニ五

間半。前ニ鳥居ヲ立。縁起等ナケレハ。鎮坐ノ年月

モ知ベカラズ。村内寶光院持。

庵 鳥居ニ向テ左ニアレ。小庵ナリ。社ヲ守ル人

コ、ニ居レリ。

榛名権現社 小名平松ニアリ。村民ノ持。

第六天社 村内寶光院持。下ニ社モ同ジ持ナリ。

稻荷社二

寺院

如意輪寺地除村ノ東方ニアリ。新義真言宗。豊島郡石

神井村三寶寺ノ末。光明山福生院ト號ス。大門ノ

西傍ニ並木アリ。本堂七間ニ六間。本尊不動明王

ノ立像ヲ長二尺安置ス。開山詳ナラズ。境内先住

ノ墓碑最舊キモノ。權大僧都法印惠定。正保四年

示寂ト記シタルアリ。是ヨリ古キ開基ナル事知

ベシ。

古碑一基。境内ニアリ。永正二年乙丑二月廿日。

道西禪門ト刻ス。

鐘樓 本堂ニ向テ右ニアリ。樓ハ二間四面。鐘ノ

徑リ二尺餘。高廿三尺七八寸。銘ナシ。安永七戊

戌年九月九日。願主當院中興傳燈大阿沙梨權

大僧都盛譽ト刻シタリ。

金山權現社 鐘樓ノ側ニアリ。縁起詳ナラズ。

觀音堂 是モ同ジ邊ニアリ。四間半四面。如意輪

觀音 一作知ラガヲ安置ス。

寶樹院 境内年貢村ノ東邊ニアリ。是モ真言宗新

義。三寶寺ノ末。慈光山藥王寺ト號ス。開山源空法

印。正徳元年九月十三日寂ス。本堂六間ニ四間半。
本尊藥師如來。坐像尺餘。作佛ト而已言傳ヘテ詳
ナラズ。

地藏堂 境内ニアリ。二間半ニ二間。

辨財天社 境内ニアリ。一間半四面ノ祠。辨天ノ

石像 尺許ケ一ヲ安ス。

寶光院 境内年貢 寶樹院ノ邊ニアリ。是モ三寶寺

ノ末。金輪山明王寺ト號ス。本堂八間ニ七間。本尊

不動明王 坐像作ヲ安ス。側ニ弘法大師ノ像ヲ置

ケリ。

地藏堂 門ヲ入テ左ニアリ。

東禪寺 境内年貢地 村ノ東邊ニアリ。曹洞宗。多磨郡前

澤村淨福寺ノ末。本堂七間半ニ六間半。本尊釈迦

如來 坐像尺許ヲ安シ。左右ニ文殊普賢ニ菩薩ヲ置

ケリ。開山ハ本山十三世蘭室芳大和尚。寛文十一

年四月十七日示寂。開基ハ彌祝祥高居士。俗稱保

谷出雲守直政。元和七年辛酉二月六日卒セリ。

阿彌陀堂 大門ヲ入テ左ニアリ。二間四方。

白山社 大門ノ外ニアリ。

上保谷新田

本村ノ民伊右衛門ナルモノ関發セリ。其年歴詳ナ
ラズ。地形ハ東ノ方へ長ク。十川上水ノ水涯ニ至リ。
凡十八町許。西ハ多磨郡田無村ニ隣レリ。江戸ヲ備
ルコト六里。本村持添ノ地ユヘ人家ナシ。元文元年
大岡越前守檢地セリ。是ニヨレバ元文ノ前ニ開ケ
シ事ハ論ナシ。本村ト同ク川崎平右衛門御代官所
ナリ。

神社

淡島社 小社ナリ。本村寶光院持。

下保谷村持添新田附

下保谷村モ郷名庄名トモ上村ニ異ナラズ。江戸ヨ
リ五里半。水田ハ十ノ畑計リナリ。東ハ郡内小樽村
ニ隣リ。南ハ豊島郡關村ニ接シ。西ハ上保谷村ニ續
キ。北ハ野寺村ニ境フ。民家三十軒。コ、モ正保ノ頃
ハ。野村彦大夫ノ御代官所ナリ。寛文年中稻葉美濃
守正則ガ領知トナリ。同キ三年同人檢地ス。コノ人
所替アリシ後ハ。御料所トナリ。今ハ川崎平右衛門
支配セリ。

小名

新屋鋪

宮ノ脇

上

棒谷戸

入

松ノ木

神社

三十番神社

年歴詳ナラザレド。社地ニ松杉檜等ノ古木アリ

六段地ニ間四面。村ノ鎮守ナリ。勸請ノ

タアリ。古跡ナルベシ。前ニ鳥居ヲ立ツ。石燈籠西

基。及大許ノ題目塔アリ。村内福泉寺ノ持。

末社

天神社 本社ノ左ニアル小祠。神鉢ハ石佛ナリ

ト云。

寺院

福泉寺 境内除地 法華宗。本郡小樽村妙福寺ノ末。

保谷山妙解院ト號ス。當寺ノ過去帳ニ開祖日眼

大徳。十一日遷化ト記シタレド。古キ過去帳ハ。安

永五年ノ回祿ニ鳥有トナレバ。開祖遷化ノ年代

ヲ失スルヨシ。其頃ハ第廿五世日透代ナリト云
トキハ。舊キ創建ナルベシ。本堂六間ニ四間本尊
宗祖菩薩。丈ノ尺許ノ坐像中又鬼子母神。荒神等
ノ像アリ。

舊迹

鐘塚 村ノ北ニアリ。

經塚 村ノ南ニアリ。相傳フコノニノ塚ハ。隣村小

樽村妙福寺開山日延聖人改宗ノ日。經文及擊鉦
ヲコノ處へ埋メ。其上へ塚ヲキヅキタル故ニ名
トセリト。

下保谷新田

本村ノ地續キニテ。持添ノ地ナレバ。民家ナシ。江戸
ヨリ五里半。是モ上保谷新田ト同ジ時。大岡越前守
檢地シ。新田トナレリ。今ハ川崎平右衛門支配所ナ
リ。

